

研究施設プロジェクト名 災害史史料収集プロジェクト

代表：山崎 有恒

人間と災害との歴史的な関係性を明らかにし、それを現在と未来の防災計画に役立てることが、本研究プロジェクトの主たる目的である。そのため日本内外の史資料館に所蔵されている古文書古記録を調査し、その中から人間と災害との歴史的関係性を明らかにできるような史料を収集していく。

【研究計画】

- 4～6月 主として東京周辺の史資料館（国立国会図書館、国立公文書館、横浜市立図書館など）への出張調査を行う。
- 7～8月 夏季休暇を利用して北海道札幌市（北海道立文書館、北海道大学図書館など）での史料調査を実施する。
- 9～11月 サバティカルにより東京大学に研究拠点を移すことから、東京周辺及び関東近郊の史資料館での調査を実施する。
- 12～3月 冬期休暇及び春期休暇を利用して、韓国ソウル市並びに中華民国台北市での調査を実施する。

山崎先生におかれては、11月21日ご逝去されたため、年度初めの計画を報告書に代えさせていただきます。

謹んで報告させていただきます。

